

2025 12月 鷹栖町図書室に新しく入った本 (11月分より)

☆新しく入った本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



たかす(一般)

『RUST RUN!!!』(占冠愁／北海道新聞社)
『追憶の鑑定人』(岩井圭也／KADOKAWA)

『佐伯警部の推理』(佐々木譲／角川春樹事務所)
『名探偵にさよならを』(小西マサテル／宝島社)
『松本隆 言葉の教室』(延江浩／筑摩書房)
『描かれた蝦夷地・北海道イメージの500年』(濱口裕介／山川出版社)
『子どもの「成長痛」マニュアル』(内田繕博／合同フォレスト)
『シェー!!の自叙伝』(赤塚不二夫／晶文社)
『長嶋茂雄 太陽の軌跡』(文藝春秋)

『あやかしたち』(畠中恵／新潮社)
『神さまショッピング』(角田光代／新潮社)
『スピーチ』(まさきとしか／幻冬舎)
『エピクロスの処方箋』(夏川草介／水鈴社)
『クラウドのきほんとしくみ』(大澤文孝／インプレス)
『限界を外す』(葛西紀明／集英社)
『はじめてのキャップアート』(CAP AKIRA TOKYO／大和出版)

たかす(児童)

『トイレドライブ』(uwabami／Gakken)
『じかんはともだち』(てづかあけみ／偕成社)

『パンどろぼうとスイーツおうじ』(柴田ケイコ／KADOKAWA)
『ぼくのほしいじかん』(ソフィー・ファツス／工学図書)
『ともだちってどんなもの?』(ほそかわてん／福音館書店)
『福祉は誰のため?』(竹端寛／筑摩書房)

『ベそベそむし』(むらたゆり／あかね書房)
『くまくんこくまくんのおいもほり』(松田奈那子／文溪社)
『クッキー投票!』(G. ブライアン・カラス／あすなろ書房)
『まほうのはみがきこ』(志津栄子／金の星社)
『それ犯罪かもしれない ハンディ版』(小島洋祐 監修／金の星社)
『気持ちのことはじてん』(足立啓美 監修／ナツメ社)

きたの(一般)

『英雄の輪』(真藤順丈／講談社)
『どら蔵』(朝井まかて／講談社)

『イン・ザ・メガチャーチ』(朝井リョウ／日経BP日本経済新聞出版)
『50歳の棚卸し』(住吉美紀／講談社)
『65歳、いまが楽園』(和田秀樹／扶桑社)
『くらはしれいの夢みるドール服』(くらはしれい／ブティック社)
『これであなたもおもてなしピアニスト!』(豊島奈里／音楽之友社)

『職分』(今野敏／双葉社)
『女の子の背骨』(市川沙央／文藝春秋)
『いまだ悪戦苦闘中』(垣谷美雨／双葉社)
『三國、燃え尽きるまで厨房に立つ』(三國清三／扶桑社)
『ふるさと回帰』という選択』(澤千絵／岩波書店)
『人生100年時代の冷えとり大全120』(川嶋朗／Gakken)
『玉三郎の「風を得て」』(真山仁／文藝春秋)

きたの(児童)

『えかきになりたいねずみくん』(上野紀子／ポプラ社)
『いじい、じーっ』(ホッシーナッキー／ポプラ社)

『まよなかのおはなしかい』(チャールズ・サントソ／評論社)
『学校では教えてくれないシェイクスピア』(北村紗衣／朝日出版社)
『スーパーマーケットまるごとずかん』(中村陽子 監修／Gakken)

『ひぐま』(あべ弘士／ブロンズ新社)
『がんばりやのなまけもの』(そめやまい／みらいパブリッシング)
『ツバメの親子はどこにいる』(榎崎茜／くもん出版)
『みんなが知りたい! 古墳とはにわ』
(「古墳とはにわ」編集室／メイツユニバーサルコンテンツ)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室だよ



今年もやってきました!
年末恒例の最大20冊の図書の貸出を12月16日(火)～
年内まで行います。気になっていた本や、読みたかった
シリーズもの、分厚い大作に挑戦するチャンスです♪
この機会にどうぞまとめてお借りいただき、たくさんの
本をゆっくりと楽しみください。

年内、鷹栖町図書室・北野分室ともに、12月28日(日)
まで開室しています。



11月の本棚リレーは
O・Jさんでした。



11月の「音楽のある図書室」は
オカリナアンサンブルでした。